

琉球・沖縄 年中行事 **Q&A** ？なんでも！

地鎮祭(起工式)編



●Answer
 帰依 龍照(きえ りゅうしょう)
 沖縄市・コザ山球陽寺住職

Q 子どもが中学生になります。自分の部屋も持ちたいようです。思いきって新築したいと思っています。地鎮祭のお供えものを教えてください。
 (那覇市・Kさん)

A 中学生といいますが、自分の持ちものが明確になる年ごろです。新築するには、とてもいいタイミングだと思います。

地鎮祭のお供えものは、言いかえると土地の神さまへのプレゼントですから、真心のこもったものがいいと思います。一般的には生花、野菜、海産物、果物が多いようです。沖縄のやり方を取り入れたいのであれば、米、塩を使う方法もあります。

お供えものはテーブルに直接置くより、お盆やお膳の上に乗せた方がいいです。下敷きを準備する方が畏敬(いけい)心からおそれ敬うこと)につながりますので。生花は、バラなどトゲのあるものは遠慮します。野菜、海産物、果物の種類に決まりはありませんが、奇数にするという沖縄の考え方があります。



地鎮祭のお供えもの(宜野湾市・佐喜眞家)

Q 地鎮祭のお供えにアップルパイやシュークリームなど、ウサンデーにしたときに、みんなが喜んで食べられるものをお供えしたいのですが。
 (大宜味村・Tさん)

A 地鎮祭のお供えものの野菜、海産物、果物は山海の珍味を表しています。お供えの対象となるのは土地の神さまです。沖縄では土地の神さまのことを「ジーチヌカン(土地

之神)」「ミーヤシチヌカンガナシー(御屋敷之神加那志)」ともいいます。その神さまに山や海の「クワツチー(ご馳走)」をお供えするために野菜、海産物、



果物を準備します。沖縄では野菜、果物のことを「クガニムン(黄金のお供え)」といい、海産物のことを「ナンジヤムン(白銀のお供え)」といいます。

これは黄金のクガニムンが大地の山を表し、白銀のナンジヤムンが大海を表しているからです。アップルパイもシュークリームも、主な原材料は穀物や果物ですから、クガニムンとしてお供えしても大丈夫ということになります。ウサンデー(下げ膳)が楽しみですね。

Q 子どもは5歳と3歳です。2人とも男の子です。ワンパクざかりで騒ぎまくりです。地鎮祭に参加させても大丈夫でしょうか? 住職さんは怒りませんか?
 (糸満市・Yさん)

A ワンパクざかりでも、大丈夫ですよ。ぜひ参加させてあげてください。法事するときなど、お経を読んでいる私のヒザの上にちょこんと乗っかって

くる子どももいるくらいですから。実は、地鎮祭に子どもたちが参加することは、とても重要な意味を持ちます。学校を休ませてまで、という必要はありませんが、5歳と3歳ならぜひ。

沖縄には年中行事という独特の考え方があります。これは短期的な敬意ではなく、長期的・定期的な敬意を尊ぶ考え方の表れです。地鎮祭も住宅が完成すれば、旧暦2月8月、12月に行う「ヤシチヌウクワン(屋敷御願)」に変わります。子どもたち

が参加すれば、土地の神さまも「末代までの敬意」と喜ばれることでしょう。ちなみに私が担当する地鎮祭での記念撮影は子どもたちが中心です。



イラスト: 帰依 ひろ子